

改題

土楽たより

どうらく

Kogure 農場 1月号 (NO33)

2013年1月10日 (木) 発行

【農暦】正月のまったりした時間を！

○昨年から考えて来たことであるが、今年はチェンジの年にしなければならないと思っている。こんな思いを持ちながら“kogure 農場”のHP^{ホームページ}を覗いて見た。ついでにPC^{パソコン}収納の写真も見た。古いものほど画面から新鮮で元気なものを感じた。笠間ガルテン入所から13年目に農的新生活（笠間に新居）から9年目になる。経過を追って写真を見て行くと現在の農的生活は改善のレベルではなくチェンジのレベルであると改めて自覚される。また同時に会社現役時と同じとは言わないまでも可なり多くの事をやって来たものだと今更ながら感心もする。成果の程は？であるが、いろいろやって来たことが窺える。この“土楽たより”も言い訳的でネガティブシンキングになっている事が気になっていた。農的生活の充実度に相関している事は間違いない。“農”が大事への志の部分と“農”を楽しむ私的な生活部分を峻別とは言わないまでも分けて考え整理する事でチェンジして行きたい。実践能力など諸条件は変化しているのである。年頭の今、スケッチをし直して進めたい。そして“農への熱い思い”の実践の場を復活再生の年にしたいと思う。

○正月は特別な時間の流れを感じる。日頃、信心してなくも初詣に、門松かざり、玄関かざりとお供え餅と、特段に災い払い福を招きたいと念ずる訳もないのにしている。朝からお屠蘇を頂く。そして、なんとなくだらだらとした時間が流れる。私や我が家だけの事かも知れないが、頑張っって何かする訳ではない。年の区切りを少しだけ演出し、日頃を見直す機会にしたいと思うだけである。それには時間の停滞も必要である。今日（7日）は七草粥の日で門松かざりを外し、そろそろ普通の時に戻さなければならない。勤めの人には既にフル稼働の事と思うと嬉しいよりも羨ましくもなる。変な気分である。

○地下鉄サリン事件を扱った村上春樹の「約束された場所で」に続いてデビュー作の「風の歌を聴け」を昨夜（6日）読み終えた。1970年夏の設定で隔世となったあの頃が思いだされた。本を読む習慣にも機会にも恵まれず来



＜布施弁天へ初詣＞家族で初詣へ。厄年の娘の厄払いをする。いつも吉だった私のおみくじは凶。信心すれば開運とある。戒めの凶と思う。なぜか吉より真実味がある。心新たに良い年を願いたい。2日撮影

てしまったが、まとめて読める時の1つとして正月の読書をいつしか楽しんで来た。最近、心の飢えを感じる事が多い、本を買う事が多くなった一因かもしれない。昔は積読書（買うだけで満足し積んで置くだけの本）であったが、今は読める。初詣で真言（サンスクリット語；マントラ）の張り紙を見た。“おんそらそばていえいそわか”とあった。弁財天の真言のようだ。初詣した布施弁天は真言宗豊山派のお寺である。真言の張り紙に触発されて“現代語訳般若心経”買ってしまった。四国遍路も、写経も還暦を機にしたいと思いつながらしていない。せめて「般若心経」を身近なものにしたいと思ったからだ。もう少しだけ何もしない時間が続いてもいいと思う。

○鏡開きの11日過ぎ頃からは、堀残しのヤーコン、ブルーベリー剪定などや畑の整備を始めたい。閉塞気味な“農的生活”の再生の青写真も、はっきりしたものにして行きたいと思う。それまでは正月のまったりした時間を楽しみたい。

短歌2首

テレビから 打つ音が響く 除夜の鐘
歳重ねしを しみじみ感ず
門松の みどり澁刺 身が縮む
新たを込める 元日の朝



<千両>正月を飾る。近くの花屋で。31日撮影

【楽農】小豆、黒豆の選別作業・出荷！

<ハウス>；なし<畑A>；ヤーコン収穫残あり。
<畑B>；小豆、黒豆の選別作業（柏で）出荷
＊グリーンジム以外の農作業無し

【楽市】イベント交流・直売など

○グリーンジム本戸倶楽部（12月19－20日）

<ピッコロファームの共同圃場>

① 落花生の収穫と畑の片付け（臨時作業とし11日実施）②大根の収穫・出荷。

③土楽小屋の大掃除・忘年会＊ 忘年会はガルテンの宿泊施設を使う。

＊詳細はブログの“ピッコロファーム楽農・楽市”に掲載。

○その他 忘年会、結婚式、県政提言集会など忙しい年末になった。

【つぶやき=Tweet】当の本人がIT（情報）弱者になっている

○いろいろ言われて来た情報化社会はとどまる事を知らない。独居老人とか買い物難民とかいろいろ言われているが、情報化社会に取り残される人は老人に限った事ではない様に見える。高齢者がIT社会から取り残されないためになればと“シニア情報生活アドバイザー”の資格をとったが当の本人がIT（情報）弱者になっている。情報化社会の加速化は益々激しくなり、恩恵を受けられる人と受けられない人と格差は益々大きくなる。元日の朝の

テレビ開局60周年の番組を見たが街頭テレビなど懐かしく思い出された。そこには人間臭が溢れているように見えた。情報化社会の加速進展の目まぐるしい状況には戸惑うことが多い。情報化社会の限りない利便性の夢の部分と歪みや陰の部分も垣間見られる。人間的存在の在り方も大きく変容を強いられるように思われる。昔見た映画でフランソワートリュフォーの「華氏451」（紙が自然発火する温度）やスタンリーキューブリックの「2001年宇宙の旅」や「時計じかけのオレンジ」が思い出される。映画の内容の記憶はおぼろになっているが、この映画の世界が始まるのではないかと思われる様なIT社会の進展のスピードである。対立要因ではないと思っていても、人間的存在の在り方は当然だが、人間の生物的、動物的存在の在り方（臭）も薄めてはならないと思う。土（臭）は大事にしたい。

○甥の結婚式に出席した。ITの会社に勤めている。IT企業の社長さんも何人か出席していた。折り目正しく自信と元気が溢れているように見えた。30代前半に見えた、この人たちがこれからの社会を引っ張って行くのだらうと思った。幸福な家庭を育む事を念じながら、比喩的に云えば、ITと生物学が、これか

らは大事で有ると思った。大事と云えば、社会インフラでITもだが、エネルギーも大事である。生物学の範疇には農産物（農業）もそして環境も入れて置きたい。生物もエネルギーも多様（性）化こそが大事である。二者択一の論議は不毛である。初詣の並んだ列で年配者と若者が原発の議論をしていた推進でも反対でもない様に聞こえた。賢く生き（行き）たいものである。

番外もごもご；最近注目されているのか？テレビで生物学の教授をよく見る。生物は興味ある科目であったので学びたいと思うが、その機会に恵まれる事はないと諦める事にする。欲張りな私。

【後記】好きな雑煮を美味しく頂き、正月のんびりした時間を過ごしています。重くなった身体を、そろそろ始動したいと思います。笠間に、kogure農場にお越し下さい。

【特に編集せずランダムな構成にします】



<ナプキンの演出>祝い事はいい。
甥の結婚式で15日撮影

発行者；Kogure農場・小暮虎雄
住所；笠間市本戸4201-10
携帯電話；090-9333-4135
メール；torao-k@nifty.ne.jp
HP；<http://homepage3.nifty.com/toragigi/>